

2020, 5, 8,

## 大田区サッカーファミリーのみなさんへ

本来であれば、4/25に「OFA・創立60周年式典」を終え、新装なった“森ヶ崎人工芝サッカー場”を中心に新年度・事業運営、真っ盛りといったところでしたが、目に見えない、得体の知れない【新型コロナ・ウイルス】に全地球規模の範囲で攻撃を受け、あらゆる人間の営みもストップさせられながら、そのディフェンスに世界の医療関係者が命がけで立ち向かいベストを尽くされていることに感謝し、頭が下る思いで一杯であり、みなさんには“Stay home”を余儀なくされ、生活リズムの変化で苦慮されていることと存じます。

政府の4/7“緊急事態宣言”・5/7“緊急事態延長宣言”による「JFA/TFA」の通達等に鑑み「OFA」ファミリーのみなさんに【緊急事態宣言期間中のサッカー活動の禁止（Stay homeの徹底）について】各カテゴリー部長を通じてお願いしたところではありますが、残念ながら当期間中に一部、ご理解をいただかず“サッカー活動”が見られたという2～3ルールを守れていない旨の通報が「OFA」にあり、そういった方々は“サッカー“という素晴らしいスポーツのプレーやコーチング等に参加する資格がありや、なしかという、あるまじき行為に憂慮してとっております。

このような”緊急事態宣言“は今までにない経験で、現時点では、不明な点が多い感染症で、効薬やワクチンもなく非常に怖い【新型コロナウイルス感染症】であり、それに打ち勝ち、終息させるため「うつさない・うつされない」をモットーに、不用不急の外出の自粛、人と人との接触（3つの密）を避けるなど、大変厳しい忍耐と我慢を強いられていますが、”思い切りボールを蹴れる日“を”目指して我慢強く、粘り強く人と人がセパレートされた状態（ソーシャルジスタンス）を保つよう、サッカーファミリーのみなさん！頑張りましょう！ 宜しくお願いします。

このような【コロナ禍】により盛り上がりが消えてしまいましたが、本年1月に【第98回全国高校サッカー選手権】で参加校4037校の頂点に立った・静岡学園高校サッカー部の総監督・井田勝通氏（私が先年、神奈川県K高校サッカー部監督時に学生コーチとしてご一緒しました関係）から平成29年元旦に頂いた“年賀状”が1ヶ月ほど前、偶然にも、整理整頓のできていない私の書棚から舞い落ちてきて、下記のように書いてあった。

『謹賀新年 皆様ご一家のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。』

「絶対必然絶対最善」これは哲学者ライプニッツがとなえた説だ。大学生時代、これを現実感を持って受け取ることは出来なかった。今75才となり色々と人生の現実に出会うことによってその

意味が解って来た。現在これは私の人生に対する信念の一面といってもよい。つまり、全知全能の神はこの世界を最善に創った。だからこの世に於ける災いや困難は神から見ればそれぞれに意味があるという訳である。こういう考えならば現在の自分にとって、たとえ良くない様な事が起こっても、それは神が私にとってそれが絶対に必要だからこういう試練を与えたのだと信じるのです。

即ちわが身の上にかかるすべてがこの私にとって絶対必然であり、又絶対最善なはずだという考えです。だからそれに対して一切これを拒まず、これを却けず素直にその一切を受け入れ、そこに隠されている神の意志を読みとらねばならぬわけです。だからそれは、自分に与えられた全運命を感謝して受け取って天を恨まず、人を咎めず、いやむしろ天命を信じるからこそ、その天命を楽しむと心の持ち方にいう心境であるのです。 平成二十九年 元旦

自筆で 『一筋にまっすぐでいい』と。

私はこの内容には、さすが全国高校サッカー選手権で二度の優勝を成し遂げ、且つJリーガーを70名も送り出した人物であるからこそ書けることだと改めて感動させられ、今の『コロナ禍』において、心の荒む時代に、考え方や気持ちの拠り所にさせてもらい、手帳に挟んで毎日拝読しているところでもあります。自分だけかも知れませんが、何方か共感されれば幸甚です。ご参考まで！

大田区サッカー協会 会長 大前卓也